

およそ90名の受講生の方がおられました。一部の受講生の方々の授業への感想から掲載させていただきました。

\*初めての人とのコミュニケーションのとり方で、たくさんあっておもしろかったです。時々冗談を言いながら場をなごませてくれたのは良いと思いました。先生は役者だとか聞いた事があるので、そのような見本を見せていただきました。100マス計算は、逆にやらなかったコトにイライラして、ストレスになったと思います。なので、後で自分でしてみようと思いました。自分を見つめることで自己認知をする。自分の事は自分が1番わからないので、認知する大事さを改めて知りました。ロールプレイングは普通の講義よりもわかりやすく見る事ができました。私たちもわかりやすいというのは、子ども達にもわかりやすいのだと思いました。楽しく視覚的に見れたり感じたりするのは、いい支援だなと感じました。本日はわざわざ来ていただきありがとうございました。すごく楽しく学べた1時間半でした。

\*私たちの日常の会話ではけっこう間髪をいれずに話すことが多く、私は聞く側が多いのですが、やっぱり意見のぶつかりあい等も多いので、「そうやね」と受けとめてあげることは大切だなと思いました。今の大阪は学力学力とばかり言っていますが、学力kも大事だけど、やっぱり人間性を育てる事も大事だと思います。勉強が苦手な子にとっては、本当に学校に行くのが苦痛になってしまうし、学校というのは私は楽しい物で、仲間とみんなあで協力することを覚えたりするとうものだと思っているので、ストレスを作るための学校はいらないと臣マス。ロールプレイングをたくさんしていただいて、とても楽しく理解させて頂きました。これから、今日学ばせて頂いた事を日常に取り入れながら将来教師になった時に実践していきたいと思います。ありがとうございました。

\*相手が「へえ～」と返してくれるだけでも、聞いてもらえている、相手に認められていることがわかりました。百マス計算をやめると言われたとき、ほっとした人と残念に思った人に分かれてしまったけれど、ほっとした人の方がストレスを溜めやすい事実にはびっくりしました。ロールプレイングをして頂き、自分の学生生活のことを思い出しました。確かに無視して聞いているふりをする先生や決めつける先生・主役交代していつの間にか説教されてしまう先生などいました。相手にセンターを置くということが、いかに大事かがわかりました。教師は教えるのでもなく押しつけるのでもなく、子どもの認知力を高める支援をしていくことが大切だと思いました。相手に伝えようと努力できる子どもに成長させたいと思いました。ありがとうございました。